

学校・保護者・地域をつなぐ...

うてよびびけよ 鼓中通信

第11号

「来てよかった、明日も来たい」学校を目指して
令和5年9月4日

鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校
☎059-386-5852

R5学力学習状況調査結果の分析と課題

学力学習状況調査は、毎年、小学校6年生・中学校3年生に行われますが、目的としては以下のようになっています。

○義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

○学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

従いまして、この結果を検証して、授業改善につなげていきたいと思いますが、1回のテストであることから、教育課題の結果のすべてではなく、一部の参考になるものとしてとらえております。生徒や保護者の皆さんには、自分の結果とともに、本校の強みと弱みを確認いただき、学習に役立てていただければと思います。

成果○と課題▲

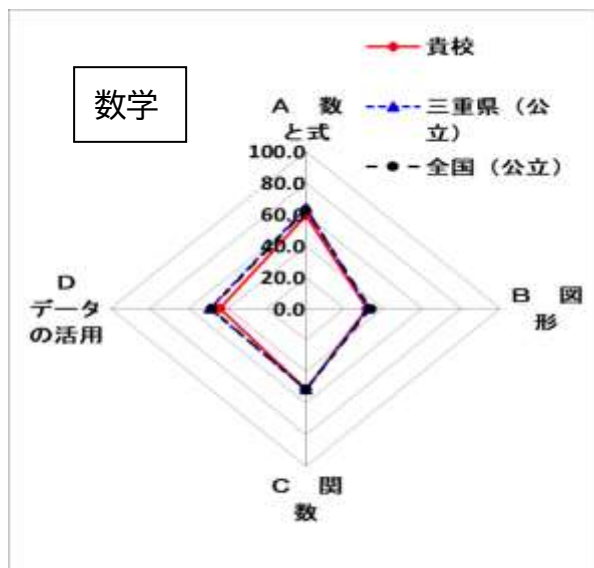
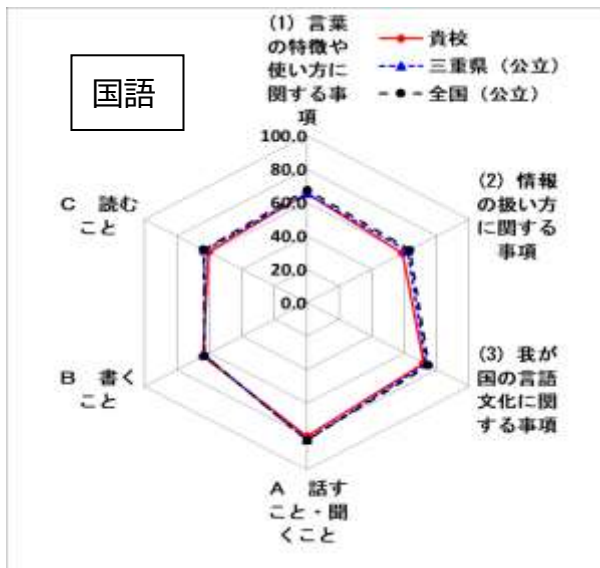
【国語】

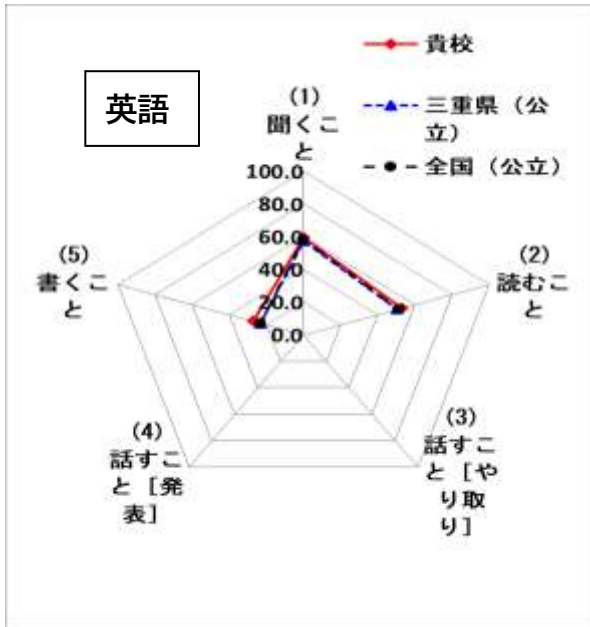
○選択問題で3問全国平均を上回った。言葉の意味を選ぶ問題、「意図」を説明する問題に強い。

○選択問題はほぼ全て無回答率が0%だった。

▲「書く」問題で正答率が低かった。無回答率も全国平均より高かった。

▲後半の問題にいくにつれて正答率が下がっているため、解く速さや集中力にも課題があると思われる。古典への苦手意識も感じられる。





【数学】

○グラフから読み取る、証明の問題など、2年生の内容が比較的できている。本校が2年生の数学に力を入れている成果だと思われる。

▲自然数に「0」が入っている。基本的な計算ができていない。四分位数が苦手。「説明しなさい」が言葉不足である。

【英語】

○基礎基本が定着しており、放送問題「聞くこと」において、ある程度まとまりのあるスピーチやり取りの内容理解に長けている。

▲「書くこと」において、基本的な文法には変換できるが、意見や要約などまとまりのある文で表現することが苦手である。

今後の授業での具体的な改善策

【国語】

- ・ただ自分の考えを書くのではなく、資料を読み取って説明したり比較しながら書いたり、自分の知識や経験に触れたり、様々な形式の「書く」問題に取り組ませる。
- ・文章を読む速度をあげるため、短めの文章を読んで解く機会を増やす。また、授業で音読する時間を確保する。
- ・古典の基礎的な知識を復習し、定着させる。
- ・理解に困難な生徒については漢字や語句の知識を増やすため授業の導入でプリント学習を行う。

【数学】

- ・苦手分野の反復練習及び過去の問題を授業の中で取り扱っていく。言葉や文章での表現ができるようになることは、国語や英語においても課題となっているため、教科を超えた指導が必要となる。

【英語】

- ・文の構成を考えながら読む力を鍛える。
- ・目的・場面・状況がしっかりした課題設定を行い、まとまりのある文、中身のある文、伝えたい内容を書く方法や練習を行う。

◇生徒質問紙より課題と思われること

| | |
|---|----------------------------|
| 普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか | 【1時間以上】64.7%（全国65.8%）▽1.1 |
| 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか | 【1時間以上】59.9%（全国65.3%）▽6.4 |
| 普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間読書をしますか | 【10分以上】30.8%（全国49.4%）▽18.6 |

上記のように、自分で時間を組み立てて、計画的に学習を進めていく力や調整をしていく力が弱いことに加えて、読書量が少ないことが気になります。1, 2年生時は、朝読書を学校でも行っていますが、3年生からはなくなります。

読書は、すべての力を伸ばし、思考を深め、出会いにつながる素晴らしいものです。しかし、環境によるものも大きく、習慣でもありますので、全校での課題として読書のすすめをしていきたいと思っております。ご家庭でも一緒に楽しんで読書をしたり、有意義な時間の過ごし方をいただけるとありがたいです。

また、若干自信がない傾向もあります。いろいろなことに挑戦して、たくさん失敗し乗り越える経験をしてほしいと思っております。

